

## 質 問 回 答

2014 年 11 月 10 日

(案件名)「パレスチナ廃棄物管理能力向上プロジェクト フェーズ2」

(公示日:2014 年 10 月 29 日 / 公示番号:140896) について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番 号	当該頁項目	質問	回答
1	業務指示書 P3 業務内容 P14	専門分野が「総括/廃棄物管理体制」(業務指示書 P3)と「総括/組織制度構築」(業務内容 P14)と2通りありますが、どちらが正しいのでしょうか。	「総括/廃棄物管理体制」で統一します。
2	業務内容 P3【成果2に係る活動】	業務指示書 P.3 の【成果2に係る活動】として以下の3項目が示されている。 1) ごみ収集・運搬の PP を実施する。 2) ごみ減量の PP を実施する。 3) 住民意識啓発の PP を実施する。 しかしながら、R/D の添付資料の PDM 及び PO では2)ごみ減量の PP に相当する “2-2 Pilot Project on waste reduction (home/community composting “ が示されているのみであるが、上述1)及び3)の活動も同時期に実施すると考えてよろしいですか？	2) コンポストの実施時期は、現在の PO では 2015 年 7 月～2017 年 8 月です。 1)、3)の活動時期は、2015 年 3 月に実施を予定している現地研修を通じて、参加 JSC が作成する計画から、実行性の高いものを選定して実施する予定です。これらのパイロットプロジェクトの実施は、ごみ減量のパイロットプロジェクトと同時期となる見込みです。
3	上記同様	上記質問に関連し、PDM 及び PO に示されている “2-1 Pilot Project on Environmental auditing for landfill” 及び 2-3 Standard for construction and demolition (C&D) waste management” はコンサルタントの主業務範囲外と考えるよろしいですか。	2-1、2-3 については当該業務実施契約の活動の内容の範囲外です。 (別途、短期専門家が担当します。)

4	業務内容 P8	<p>業務指示書 P8 で、「<b>研修会場はヘブロン処分場の管理棟の講義室を想定する。</b>」とありますが、ヘブロン処分場は、市街地から離れた距離にあり、全国の JC から職員を集め、宿泊を伴う長期の研修会場としては、不向きと考えられます。</p> <p>提案として、</p> <p>1)ラマラにおいて、会場を想定した場合の費用を見積りに加えてもよろしいでしょうか。</p> <p>2)出席者の旅費、宿泊、日当を費用に加えてもよろしいでしょうか。</p> <p>3)研修の一環としてヘブロン処分場に行く場合の車両の借り上げ費用を見積りに加えてもよろしいでしょうか。</p>	<p>1) パレスチナ側 C/P は、ヘブロン管理棟を人材養成のセンターのような位置づけとする構想を持っており、講義室として活用したい意向です。現状においてラマラに講義室を設ける想定はありません。</p> <p>2) 3) 研修員の日当・宿泊費、研修用バスのレンタル代は見積りに含めることとします。</p>
5	6.業務の内容 P.7	<p>研修の準備</p> <p>研修の準備として、研修講師の手配、教材作成とありますが、講師謝金や教材製本費などの研修に係る経費は見積りに計上する必要がありますか。</p>	<p>研修経費については、下記各項目のとおり、見積計上は必要ありません。</p> <p>研修講師謝金について、日本人専門家に対しては不要です。またローカルエキスパートが研修講師を務める際も別途契約金を支払っているため、講師謝金の見積への計上は、不要です。もし講師謝金の必要なケースが発生した場合は、JICA直営の経費から支払います。</p> <p>教材製本費とありますが、「配布資料」としますので、製本作業は不要。よって教材製本費の計上は不要です。</p> <p>また現地で発生する印刷作業については、プリンター、トナー、印刷用紙等をプロジェクトオフィスにて常備しており、特段の見積りへの計上は不要です。</p>

以上